

# 中学卒業者数は11年振りに増加

## 昭和49年度学校基本調査結果（その2）

＝人口学事統計係＝

### 調査の概要

この調査は、学校基本調査規則に基づいて、毎年5月11日を調査日として実施されている文部省所管の学校基本調査のうち、卒業後の状況調査（49年3月卒業者）に関する結果である。

調査の対象校は、国立を除く県内の公私立の中学校並びに高等学校の全校で、中学校は公立194校、私立3校の合わせて197校、高等学校は公立76校、私立13校の合わせて89校である。

調査結果のうち主な事項は次のとおりであるが、この数値は概数で、後日、文部省からの公表数値が確定数となるので、あらかじめご了承ください。

### 結果の概要

#### 1 中学校 —進学率は85.9%—

昭和49年3月に県内の中学校を卒業した者は総数37,095人（男18,983人、女18,112人）で、昭和39年から毎年減少し続けてきた中学卒業者も、本年になってやっと増加に転じ、前年に比べ655人の増加となった。

この卒業者について進学状況をみると、上級学校への進学者は31,226人で前年より1,211人多くなった。内訳は、高等学校全日制30,949人、定時制93人、高等学校別科2人、高等専門学校182人となっている。

また、就職進学者は639人で前年より140人少なく、就職進学者を含めた県平均の進学率をみると85.9%で、前

表1 進路別卒業者数（中学校）

年 度	総 数	進 学 者	就 職 者	就職進学者	無 業 者	そ の 他	進 学 率 (%)	
							県	全 国
昭 和 48 年	36,440	30,015	3,637	779	1,932	77	84.5	89.4
49	37,095	31,226	3,018	639	2,180	32	85.9	90.8
増 減 (△印は減)	655	1,211	△ 619	△ 140	248	△ 45	1.4	1.4

年より1.4ポイント高くなり、進学率は年々上昇してきている。

しかし、全国平均の進学率90.8%に比べると、まだ低率である。

一方、就職状況は進学者の増加につれて減少傾向にあり、本年度の就職者は3,657人（就職進学者を含む。）で卒業生総数の9.9%にあたり、前年より759人減少している。

就職者の産業別をみると、製造業が最も多く2,332人、ついでサービス業512人、建設業296人、卸売業小売業

174人、農業148人となっており、産業別構成比は、第1次産業4.3%、第2次産業72.3%、第3次産業23.4%で、半数以上が第2次産業に就職している。

また、就職者を県内、県外別に分けてみると、県内就職者は2,700人（73.8%）、県外就職者は957人（26.2%）であり、県外就職の都県別割合は、東京都が最も多く12.7%、埼玉県3.7%、神奈川県2.7%、栃木県2.4%、千葉県2.1%の順で、大半が関東近県への就職となっている。

表 2 産業別就職者数 (中学校)

産 業	昭和48年	49	増 減 (△印は減)
総 数	4,416	3,657	△ 759
第1次 { 農 業, 狩 猟 業 林 業, 水産養殖業	170 4 17	148 6 4	△ 22 2 13
第2次 { 鉱 業 建 設 業 製 造 業	15 398 2,696	14 296 2,332	△ 1 △ 102 △ 364
第3次 { 卸 売 業, 小 売 業 金 融・保 険 業 不 動 産 業 運 輸・通 信 業 電 気・ガ ス・水 道 業 サ ー ビ ス 業 公 務	268 5 1 70 66 635 15	174 1 △ 1 67 39 512 8	△ 94 △ 4 △ 1 △ 3 △ 27 △ 123 △ 7
上記以外のもの	56	56	

2 等 高 学 校 — 進 学 率 は 25.0% —

高等学校の卒業者は総数29,261人で、中学卒業者と同様に前年より501人増加した。

卒業者のうち、上級学校への進学者は前年より438人多い7,151人で、進学先は大学4,370人、短期大学2,710人、大学短大の別科、高等学校専攻科45人、国立養護教諭養成所26人となっている。

就職進学者は172人とほぼ前年なみで、就職進学者を含めた県平均進学率は25.0%で、前年に比べ1.0ポイント高くなり、高校卒業者のうち4人に1人は進学していることになる。

なお、全国平均の進学率は32.2%で、高校進学率とともに本県の進学率はまだ低率である。

表 3 進 路 別 卒 業 者 数 (高等学校)

年 度	総 数	進 学 者	就 職 者	就職進学者	無 業 者	そ の 他	進 学 率 (%)	
							県	全 国
昭 和 48 年	28,760	6,213	16,029	181	5,759	78	24.0	31.1
49	29,261	7,151	15,796	172	6,047	95	25.0	32.2
増 減 (△印は減)	501	438	△ 233	△ 9	288	17	1.0	1.1

就職者は15,968人(就職進学者を含む。)で、卒業者総数の54.6%にあたり、中学卒業者とは対照的に就職者が多くなっている。

就職者の産業別をみると、製造業が最も多く5,369人、ついで卸売業小売業3,571人、金融保険業1,891人、サービス業1,463人、公務1,455人、運輸通信業921人、農業578人などが主たるものである。

なお、産業別構成比をみると、第3次産業が半数以上の60.2%を占め、第2次産業は36.1%、第1次産業はわずか3.7%にすぎない。

また、就職者を県内、県外別に分けてみると、県内就職者は10,745人(67.3%)、県外就職者は5,223人(32.7%)であり、県外就職の都県別割合は、東京都21.2%、千葉県4.2%、栃木県2.3%、神奈川県2.2%、埼玉県1.8%の順で、中学就職者と同様に大半が関東近県への就職となっている。

表 4 産業別就職者数 (高等学校)

産 業	昭和48年	49	増 減 (△印は減)
総 数	16,210	15,968	△ 242
第1次 { 農 業 林 業, 狩 猟 業 漁 業, 水産養殖業	806 10 15	578 5 6	△ 228 △ 5 △ 9
第2次 { 鉱 業 建 設 業 製 造 業	22 504 5,237	12 388 5,369	△ 10 △ 116 132
第3次 { 卸 売 業, 小 売 業 金 融・保 険 業 不 動 産 業 運 輸・通 信 業 電 気・ガ ス・水 道 業 サ ー ビ ス 業 公 務	4,248 1,534 21 720 176 1,434 1,424	3,571 1,891 45 921 170 1,463 1,455	△ 677 357 24 201 △ 6 29 31
上記以外のもの	59	94	35